

外国語活動学習指導案

日 時：平成20年12月16日（火） 3校時
対 象：宜野座村立漢那小学校
6年1組 男子12名 女子6名 計18名
授業者：H R T 上原 和子
A L T Scott Arthur Hale
担当研究主事：上江洲 隆

1 単元名： 「Let's Make a Picture Book and Read it」

2 単元設定の理由

(1) 教材観

絵本を活用した外国語活動の授業では、まとまりのある話を児童に聞かせたり、内容理解を図るための質問をしたり、異文化に触れる授業が可能となる。さらに、英語特有のリズムやイントネーションにも自然に慣れ親しませることができる。本年度実施した6年生へのアンケート結果によると、「絵本が好き。」と答えた児童が80%で、多くの児童が絵本に対して高い関心がある。

本単元で使用する絵本「The Very Hungry Caterpillar」, 「What Can You Do?」は、6年生の児童がこれまでに学んだ、曜日・数字・食べ物・I can ～等の児童にとって身近な語彙や表現でかかれている。児童に人気のある絵本の英語版及びストーリー展開が絵で予想できる絵本と、どちらも児童が親しみやすい教材である。

(2) 児童観

本学級の児童は、男女仲が良く、素直な児童が多い。最上級生としての自覚も見られ、下級生への面倒見も良い。幼稚園、低学年への読み聞かせの経験もある。

外国語活動の時間においては、学んだ英語表現を使用する場が少なかったこともあり、進んで発表しようとする態度に課題がある。

そこで本単元では、児童がこれまでに学んだ英語の語彙や表現を使う場の設定を図ることにより、前述の課題につなげたい。

(3) 指導観

毎時間の授業の始めに、ルールを確認する。ルールを確認することで、それに沿って、活動できるよう動機づけを行う。

本単元では、「The Very Hungry Caterpillar」, 「What Can You Do?」二つの絵本を活用した授業展開を図る。グループで作成した絵本の発表を通して、進んで英語を使い先生や友達とコミュニケーションをしようとする態度をはぐくみたいと考える。

活動の第1時では、絵本に関する内容の5W1Hについて知る。

活動の第2・3時では、二つの絵本の読み聞かせの際に、児童は絵本の絵や教師のジェスチャー等を通して概要を理解する。ここで「What?」「How many?」等の疑問詞を活用して、児童に絵本の内容を尋ねることで、より内容理解が図られると考える。教師の質問以外にも、児童同士のインタビューゲームを行うことで、さらに内容理解が深まる。これらの活動は、従来の教師が設定した目標の指導と異なり、教師と児童、児童相互の自然な会話の場面がより多く設定でき、児童の発話を促すことにもなる。

第4時では、前時までに学んだ、「The Very Hungry Caterpillar」を活用して、ロールプレイで表現する。例えば、caterpillarを、他の動物などに置き換えることで、様々なバリエーションで表現できる。この活動を通して、学んだ語彙や表現を活用させ、慣れさせることで、オリジナル絵本作成への意欲を高めたい。

第5・6・7時では、各グループで低学年の児童でも理解できる内容で、シナリオ作成をする。作成した絵本を、各グループの様々なアイディアで発表できるようにする。グループで協力して作成することで、アイディアが広がり、学んだ語彙や表現の共有化も図られる。互いに協力し合うことで、個々の児童が楽しんで参加できる。児童は、絵本作成の際に、必要な英語表現等をA L Tに

質問し、必然的に英語を使う場面の設定が図られると同時に、ALTを通して、リズムやイントネーションにも慣れ親しむことができる。

第8・9時では、各グループで作成した絵本を、聞き手にわかりやすく表現する場を設定する。発表を通して、英語使用場面の設定が図れると同時に、各グループから多様なアイデアを学ぶことができる。発表の際には、個々の児童にアドバイスカードを配布し、各グループの良かった点や改善点をアドバイスカードに記入し、互いの意見を述べ、オリジナル絵本の内容の改善につなげた

い。

第10時では、各グループ、改善点を基に、再度発表会を行う。低学年の児童でも理解できるように、聞き手を意識した表現方法の工夫を図りたい。言葉を介した音声表現と言葉を介さないジェスチャー、聞き手にとってわかりやすい絵等、表現方法の工夫を図る。

一連の活動を通して、児童は実際に英語を使い、グループで協力して絵本を作成、発表することで、達成感を味わうことができ、英語に慣れ親しみ、進んで英語を使おうとする態度がはぐくまれると考える。

3 単元の見目標

- ①絵本を通して英語に関心を持ち、オリジナル絵本を作ることができる。
- ②グループで協力して、低学年が楽しめるように工夫して伝えようとする。
- ③絵本の語彙や英語表現を通して、慣れ親しむ。

4 単元の具体的な評価規準

【コミュニケーションへの 関心・意欲・態度】	【表現の能力】	【理解の能力】	【言語・文化への 気づき】
①進んで英語を使い、先生や友達とコミュニケーションをとろうとしている。 ②友達と協力して意欲的に絵本作りに取り組もうとしている。	①学んだ語彙や英語表現が言える。 ②学んだ語彙や英語表現を使って、ロールプレイや絵本の発表ができる。	①絵本の内容について理解できる。 ②友達の発表内容について理解することができる。 ③5W1Hについて知る	①英語の独特のリズムやイントネーションに慣れ親しむことができる。

5 単元の指導と評価の計画

時間	学 習 目 標	学 習 活 動	評価規準				評価資料
			関	表	理	言	
1	・5W1Hについて知る。	・5W1Hについて知る	①		③		行動観察 振り返り シート
2	・「The Very Hungry Caterpillar」の絵本の概要を理解する。	・話を聞き、質問に答える ・絵本に出てくる表現の練習			①	①	行動観察 振り返り シート ワークシート
3	・「What Can You Do?」の絵本の概要を理解する。	・話を聞き、質問に答える ・絵本に出てくる表現の練習			①	①	行動観察 振り返り シート ワークシート

4	・既習の表現を使って簡単なロールプレイをする。	・学んだ表現を使って簡単なロールプレイをする。	①	②			行動観察 振り返り シート
5 6 7	・オリジナル英語絵本を作成。	・これまでに学んだ絵本の内容を参考にして、学んだ表現を使ってグループで英語の絵本を作成する。	②	②			行動観察 振り返り シート シリオシート
8 9 本時	・作成した絵本を聞き手に分かりやすく発表できる。	・グループで絵本を発表する。 ・互いに絵本の良い所，工夫した所，改善点を述べる。		②			行動観察 振り返り シート ワークシート シリオシート
10	・作成した絵本を改善し，聞き手に，前時よりもわかりやすく発表できる。	・各グループ低学年が理解できるように工夫して絵本を読む。	①	②			行動観察 振り返り シート

6 本時の学習指導

(1) 本時の単元名

「Let's Read the Original Picture Books」

(2) 本時の指導目標

- ①学んだ語彙や英語表現を活用し，グループで協力して英語絵本の発表ができる。
②友達の発表を聞き，工夫しているところに気づいたり，アドバイスしたりすることができる。

(3) 授業の仮説

オリジナル絵本の発表を通して，英語を使えたことにより成就感・達成感を味わい，進んで英語を使おうとする態度がはぐくまれるであろう。

(4) 言語材料

- ①On Monday, he ate through～ ②I can～ ③I like ～ ④What is this? ⑤Who is this?
Who am I ?

7 本時の評価規準

学習活動	評価規準 (評価の観点)	判断基準			評価 資料
		A	B	C (支援)	
・グループで協力して英語絵本の発表をする	・学んだ語彙や表現を使って，自分の考えなどを先生や友達に伝えようとしている。 【表②】	・学んだ語彙や表現を使って，表現方法を工夫して自分の考えなどを積極的に伝えようとしている。	・学んだ語彙や表現を使って，自分の考えなどを先生や友達に伝えようとしている。	・友達と協力して，シナリオをみながら発表できるようにする。	行 動 観 察 振 り 返 り シ ー ト シ リ オ シ ー ト ワ ー ク シ ー ト

8 本時の指導過程

過程	児童の活動	教師の支援 HRT (H) ALT (A)	☆留意点○評価 ★教具
	①あいさつ (greeting) Good morning, Kazuko sensei	(H) Good morning, every one! (A) Good morning, every one!	☆ cheerfully 元気よく

導入	Scott sensei. I'm fine/great/happy It's December 16th. It's Tuesday. It's sunny/cloudy/rainy ・アイスブレーキング	(A) How are you? (A) What is the date today? (A) What day is it? (A) How is the weather? (H) Let's enjoy English lesson together! O.K!	☆一人一人の児童の様子を把握するようにする。 ★カード
	5分 ②ルール確認 (explain the class rule) Respect others! Listen carefully! Make eye contact! Speak up! Don't be shy! Mistakes are OK!	(H) 英語ルールの確認をしましょう。英語係さん、お願いします。 Respect others! Listen carefully! Make eye contact! Speak up! Don't be shy! Mistakes are OK!	★掲示物 (ルール)
展開	③本時の活動の確認 Listen carefully! Make eye contact! Don't be shy! Mistakes are OK! Say Good job 発表したらみんなで褒める ④発表会 (host students) Let's enjoy picture book (Quiz) group, please. Thank you very much. Next (Anpanman) group, please. Thank you very much. Next (Momotaro) group, please. 33分 (発表グループ) We are ~ Are you ready? demonstrate O.K Let's start! Thank you for listening. 〈発表する側〉 工夫した点を示し、発表する。 〈発表を聞く側〉 それぞれのグループの良い点、工夫している点、改善点に気づく。 ⑤お互いにアドバイスし合う。 良かった点、修正点を発表させる。	(H) 絵本発表のリハーサルをしましょう。 O.K, everyone, Let's read a picture book. ・声の大きさや、リズムに気を付けて協力して発表すること。 (Speak loudly /enjoy!) ・聞き手に分かる内容 聞き手に伝える工夫をして下さい (H) Good job! (A) Good job! (H) 支援する (A) 支援する ・日本語でコメントを求める ・良かった点と改善点を書いてください	★掲示物 ☆司会の児童の支援をする。 ○学んだ語彙や表現を使って、自分の考えなどを先生や友達に伝えようとしている。【表②】 ★付箋紙 (アドバイスカード) ★ワークシート ☆良かった点や改善点は理由を具体的に書くようにする

	What is the good point and weak point in each group? Please write your advice. Say your advice to everyone, please. Let's paste your advice on black board. ⑥アドバイスをもとに，修正部分を話し合う。 ⑦修正点を中心に練習する。 Talk about your weak points, Let's practice again.	・良かった点と改善点を発表してください ・アドバイスカードを貼ってください (H) 支援する (A) 支援する	☆ ALT/HRT は各グループごとに支援する
まとめ 7分	⑧まとめ 振り返りシートを書く complete a review worksheet ⑨感想の発表 Thank you see you soon Good bye	今日の活動を振り返りましょう。 (H) How was the class today? (H) 次の時間は，低学年の皆さんの前で発表してもらいます。 Let's try! Do your best! (H) That's all for today.	★ 振り返りシート

9 本時の評価

「学んだ語彙や表現を使って，自分の考えなどを先生や友達に伝えようとしているか」

「友達の発表内容について理解しようとしているか」

ワークシート・振り返りカード・ビデオ・発言等で評価

外国語活動指導案

〈研究テーマ〉

進んで英語を使おうとする態度をはぐくむ外国語活動の工夫
ーオリジナル絵本を活用した 発表を通してー

平成 20 年 12 月 16 日（火）3 校時
宜野座村立漢那小学校 6 年 1 組
授業者 上原 和子